赤十字の活動資金にご協力をお願いします

皆さまのご寄付が活用されています。

赤十字の事業を各地域で行うために、各市町に赤十字窓口を設けています。
火災や台風などの災害時には、避難所等で救援物資をお配りするため、
倉庫や災害救援車両の整備、救援物資の備蓄を各市町と協力しながら進めています。
皆様からいただいたご寄付が地域の防災・減災等に役立てられています。

萩市に整備した
災害救援車両

避難先での生活に必要な
資材が入った緊急セット

マットやアイマスクなどが
入った安眠セット

ご協力方法について

❶金融機関へのお振込み ※受領証を希望される場合は、通信欄にご記入いただくか支部までお電話ください。

1 ゆうちょ銀行	01590-3-4076	
2 山口銀行 山口支店	（普通）0100606	振込先
3 西京銀行 山口支店	（普通）2075763	

日本赤十字社山口県支部
会員登録および表彰を希望される方は、恐れ入りますが、支部までお電話ください。

❷クレジットカードから
日赤本社の専用ページからお申込みいただけます。
https://donate.jrc.or.jp/
携帯・スマートフォンからも可能です。

❸自動引き落とし（口座振替）
毎月／年1回など、ご希望の頻度と額で定期的にご寄付いただけます。
申込用紙をお送りしますので日赤山口県支部までお電話ください。

❹現金による受付
各市町の赤十字窓口、または日赤山口県支部で受け付けています。

❺遺贈・相続財産でのご協力
「自分の財産の一部や、故人の遺産を社会のために役立ててほしい」という尊いご意思を受け、遺贈による寄付・相続財産の寄付を承っております。ホームページからパンフレットをダウンロードいただくか、または支部までお電話ください。

ご案内パンフレットはこちら
https://www.jrc.or.jp/contribute/pdf/izosouzoku.pdf

その他のご寄付
内祝いや香典返しなどを社会貢献に役立ててみませんか？
香典返しのお礼状をサービスで印刷いたします。お電話でご相談ください。

税制優遇について

個人 所得税および個人住民税の控除の対象
（所得税法第78条第2項第3号地方税法第37条の2 地方税法第314条の7）

相続または遺贈 相続税の非課税
（租税特別措置法第70条）

※詳しくは、お近くの税理士事務所等にお問い合わせください。※法人税の優遇もあります。詳しくは日赤山口県支部までお問い合わせください。

表彰について

ご寄付の金額に応じた表彰制度があります

※義援金は「国又は地方公共団体に対する寄付金」となるため赤十字表彰の対象にはなりません。

日赤山口県支部では、毎年2月頃に、金色有功章以上の受章者を対象に表彰式典を開催し、支部長（村岡嗣政知事）から直接表彰をさせていただきます。

お知らせ

5月は赤十字運動月間です

日本赤十字社は1877年の西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人々を救うために幅広い分野で活動しています。
日赤では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけています。

自治会・町内会を通じて日赤にご協力くださる皆様へ

日頃からご協力いただき誠にありがとうございます。
お寄せいただいたご寄付は、赤十字の災害救護活動や被災者へ配布する救援物資の備蓄、救急法等の講習実施など、赤十字の人道支援事業に活用させていただいております。
引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

被災地で活動する日赤山口県支部救護班

県内企業・団体の皆さまへ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

日赤山口県支部では、活動を続けていくため継続的な活動資金への寄付協力をお願いしています。ご協力いただける場合は、振込用紙をお送りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。日本赤十字社への寄付に対しては、税制上の優遇措置や表彰制度があります。

赤十字サポーター募集中！

要件❶ 年1万円のご寄付に加え、日赤の事業・活動に参加・協力
または
要件❷ 年10万円のご寄付

NEW

株式会社中原組
サポーター認定にあわせて寄付付自販機を設置いただきました。

赤十字サポーター認定企業・団体等

- 株式会社西京銀行
- 株式会社丸久
- 株式会社三宅商事
- 生活協同組合コープやまぐち
- 下関商業開発株式会社
- 一般社団法人生命保険協会山口県協会
- 株式会社エイム
- 澤田建設株式会社
- 株式会社コムズコーポレーション
- ホテル西長門リゾート
- 宇部流通サービス株式会社
- 錦町農産加工株式会社
- 有限会社本瀬商会
- Cafe&Bakery Campana
- トヨタモビリティパーツ株式会社山口支社
- 富士高圧フレキシブルホース株式会社
- 株式会社シマヤ
- 防長交通株式会社
- 徳山興産株式会社
- 積水ハウスグループ
- 株式会社ヤマウチ
- 株式会社エコル

新 株式会社中原組

令和4年2月末時点 計23社

講習会や寄付のお問い合わせは
日本赤十字社山口県支部 TEL 083-922-0102
ホームページ：https://www.jrc.or.jp/chapter/yamaguchi/
Facebook：https://www.facebook.com/jrcyamaguchi

HP　facebook

人間を救うのは人間だ。

赤十字やまぐち

2022 春号

Japanese Red Cross Yamaguchi Chapter

救うを助ける

自宅からできる支援があります

令和3年11月 中四国ブロック災害救護訓練

災害時の医療救護活動、避難所で配布する救護物資の配備等、全ての事業は県民の皆さまからの寄付金を財源にしています。

令和4年度 日本赤十字社山口県支部 予算（単位：千円）

皆様からの活動資金をもとに、人間のいのちと健康、尊厳を守る活動を続けています。

A 活動資金収入	185,000
B 本社交付金収入	4,194
C 雑収入	6,306
D 前年度繰入金	27,000
E 災害救護	28,807
F いのちと健康を守る講習普及	15,493
G 赤十字ボランティアの育成・活動促進	10,776
H 未来につなぐ青少年赤十字活動	14,339
I 国際活動、赤十字の全国的事業	28,385
J 市町の赤十字事業	35,400
K 赤十字思想の普及等	40,606
L 支部の運営費	46,194
M 予備費	2,500

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計となっており、この予算には含まれていません。

災害時のあの人を救うのは、今のあなたかもしれない。

日本赤十字社は、世界192か国にある赤十字社の1つです。
日本赤十字社法という法律に基づく認可法人であり、独立した民間の団体です。
赤十字活動は、公平・中立に行うため、国や県・市町からの補助金を受けず、
県民の皆さまからのご寄付を財源に実施しています。

災害救護

1 10月 看護師総合演習・訓練

赤十字では、救護班要員の任命を行い、今後の発生が予想される水害や地震等の大規模災害に際して、迅速かつ的確に対応できるよう、また感染症流行期でも適切に救護活動ができるよう資機材の整備や訓練を重ねています。

3年目看護師対象の救護訓練

2 11月 中四国ブロック災害救護訓練

中国・四国9県の日赤救護班が香川県に集結し、大規模災害を想定した救護訓練を実施しました。広域かつ甚大な豪雨災害や大規模地震災害では、山口県からも近県へ救護班を派遣しています。
直近では、令和2年7月豪雨災害の際に、熊本県へ救護班を派遣し、災害救護活動を実施しました。

香川県内で活動する日赤山口県支部救護班

3 災害義援金の受付状況（山口県内）

日赤では、被災された方々を支援するため、義援金を受け付けております。
皆さまからお寄せいただきました義援金は、被災都道府県が設置する義援金配分委員会を通じ、全額を被災された方々にお届けしております。

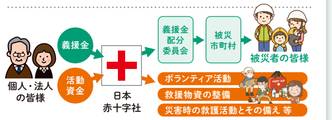
令和2年7月 豪雨災害義援金
18,523,773円
（令和3年12月31日現在）

令和3年8月 大雨災害義援金
664,599円
（令和3年12月31日現在）

義援金と活動資金の違い

義援金
被災者に現金で届く支援が「義援金」です。
日赤は手数料などは一切いただかず**100%全額**を被災道府県に設置される義援金配分委員会へ送金しています。義援金の受付にかかる経費は全て**活動資金（日赤への寄付金）**で賄っています。

活動資金（日赤への寄付）
被災地で行う救護活動や救援物資の配布、災害に備えた訓練・研修や、青少年・ボランティアの育成など、県支部の全ての活動は、皆様から寄せられる寄付金のみで行っています。



いのちと健康を守る講習会の開催

コロナ禍でも、大切ないのちと健康を守るための知識・技術を広めていく必要があります。講習会に安心して参加していただけるよう、感染予防対策を徹底しながら実施しています。
学校のプール開き前に、スポーツ団体のケガ防止などにぜひご検討ください。

12月 夜間講習会

お仕事や学校等で日中の講習受講が難しい方を対象に、夜間に救急法基礎講習会を実施しました。
参加者は、AEDの使い方を何度も反復するなどし、実技を重ねました。

令和3年度 講習会実施状況（山口県内）

救急法等講習（令和3年12月31日現在） **237回 / 7,339人**

山口県ドッジボール協会、山口県水泳連盟他、様々な企業・団体の皆様からご依頼をいただきました。

令和4年度 講習会スケジュール

救急法基礎講習会 〉心肺蘇生、AEDの使い方、喉に異物を詰まらせた際の対処法など

下関市：川中公民館
［基 礎］8月20日（土）9:30～15:30

岩国市：岩国市役所
［基 礎］10月8日（土）9:30～15:30

宇部市：宇部市総合福祉会館
［基 礎］11月5日（土）9:30～15:30

山口市：サンフレッシュ山口
［基 礎］2月18日（土）9:30～15:30

夜間講習
日本赤十字社山口県支部
――［基 礎］3日間コース――
❶11日18日(金) 18:00～19:30
❷11日25日(金) 18:00～19:30
❸12日 2日(金) 18:00～19:30

※その他の日程については日赤山口県支部ホームページまたは、お電話にてご確認ください。
※日時や会場は、変更になる場合があります。

お申込みについて
日赤山口県支部ホームページの申し込みフォームまたはお電話で受け付けています。
https://www.jrc.or.jp/chapter/yamaguchi/study/join/

未来につなぐ青少年赤十字

2022年、青少年赤十字創設100年を迎えました。青少年赤十字の特色のひとつは、学校教育の場に組織され、教師を指導者として運営されていることです。誰の心の中にも本来ある「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てることが青少年赤十字の役割です。
県内でも、172の幼稚園・保育所、小・中・高等学校・総合支援学校が加盟し、各校内で、また地域と一緒に「思いやりの心」を育み、ボランティア活動を行っています。

1 中学校・高等学校対象オンライン全国研修会 12月

全国から307校、300名以上が参加した本研修会に、小郡中学校の生徒会メンバー7名と、山口県鴻城高等学校JRC部から10名が参加し、2日間に渡って、コロナ禍での命の尊さや、防災・減災、環境問題や国際理解について学びました。

2 東日本大震災被災者の語り部LIVE 12月～2月

宮城県石巻市とオンラインで繋ぎ、周南市立福川小学校、萩高等学校をはじめ県内8校の児童・生徒らが被災者の体験談を聞きました。語り部の一人は、「防災や避難についての知識をつけ、自分の命は自分で守らなければならない」と強く訴えました。

3 地域でのボランティア活動

下関南高校JRC部は、コロナ禍でも役に立つことができないかと、友人との笑顔の写真や、美しい風景などの写真とともにメッセージを書いたポスターを作成し、「元気を届けたい！」と近くの市民病院に贈り、掲示されました。

赤十字ボランティア

県内の新型コロナウイルス感染拡大の影響で普段通りの活動が難しい状況ですが、ボランティア同士、知恵を出し合い、工夫しながら地域の清掃活動や炊き出し訓練など、社会や地域ニーズに寄り添った活動を継続しています。山口県内では、約8,600人の赤十字ボランティアが活躍中です。

1 新型コロナウイルス感染症に係る人権講演

感染症による偏見や差別を防ぐため、学校等からの依頼により講演会を実施しています。
講師は、学校の元先生方で組織される贊助奉仕団が担当しました。

2 日頃のボランティア活動

周防大島町赤十字奉仕団
夏場の海岸清掃

岩国市本郷町赤十字奉仕団
県道の清掃

3 学生赤十字奉仕団の募金活動 12月

山口大学学生赤十字奉仕団が、山口市のアルク葵店で海外たすけあい街頭募金を実施しました。
集まった募金は、世界各地で激甚化する自然災害への支援や医療・衛生が不十分な国への支援に充てられます。

県内で活躍する赤十字ボランティア

山口県内では、約8,600人の赤十字ボランティアが様々な分野で活動しています。
今号では、山口県赤十字アマチュア無線奉仕団として活躍中の上利雅幸さんにインタビューしました！

上利（あがり） 雅幸（まさゆき）さん（72歳）
活動歴：28年

Q1 赤十字ボランティアとして活動を始めたきっかけ
職場で無線クラブを組織しており、無線業務を活用した社会参加を目的として赤十字と関わり始めました。

Q2 日頃の活動内容について
災害時には被災地での情報収集、平時には無線機器のメンテナンスを兼ねた訓練を実施しています。

Q3 活動の魅力について
社会との繋がりを感じ、また自分の経験・技能を発揮しながら同じ目的を持つ人と共に活動することができます。

Q4 アマチュア無線奉仕団に入団するためには
アマチュア無線技士の資格取得を目指していただければ入団することができます。

読者の方々へメッセージ
赤十字活動に関心があり、アマチュア無線に少しでも興味のある方は、ぜひご加入ください！

次号も県内で活躍する赤十字ボランティアをご紹介します。お楽しみに！